令和８年度 奈良県・大和高田市 公立学校教員採用候補者選考試験（概要）

１　出願の日程等

（1）願書受付期間　　令和7年4月25日（金）9:00～ 5 月19日（月）17:00

（2）出願方法　　インターネット出願（e 古都なら）のみ

２　採用予定者数

校種等	教科等	R8募集	昨年比
小学校		156人程度	＋11人
中学校	国語14人程度、社会10人程度、数学14人程度、理科11人程度、音楽5人程度、美術4人程度、保健体育7人程度、技術・家庭7人程度、外国語（英語）15人程度	87人程度	＋2人
県立高等学校	国語14人程度、地理歴史13人程度、数学9人程度、理科（物理・化学・生物）6人程度、音楽1人程度、美術1人程度、書道1人程度、保健体育8人程度、外国語（英語）13人程度、家庭3人程度、農業3人程度、工業（機械・電気）3人程度、商業3人程度、情報2人程度	80人程度	＋4人
市立高等学校	国語1人	1 人程度	±0 人
県立大附属高			－1 人
特別支援学校		40人程度	±0 人
養護教諭		12人程度	±0 人
栄養教諭		4人程度	±0 人
実習助手・寄宿舎指導員	工業・理科・特別支援	3人程度	±0 人
合計		383人程度	＋16人

３　主な変更点

〇中学校・高等学校(外国語(英語))の教科専門は、筆記試験を行わず、所有する英語資格を得点化します。

〇社会人選考の対象を中学校に拡大します。対象教科は数学・理科・技術・家庭です。

〇日本語指導に関する資格所有者への加点対象を小学校と中学校に拡大します。

〇1次試験の免除に関わる要件を一部変更します。（国立及び公立学校（奈良県以外）における教諭の扱いを県費常勤講師と同じとします。）

４　受験資格

（1）　昭和39年4月2日以降に出生した人

（2）　受験する校種・教科等の免許状を所有し、所有する免許状が令和8年4月1日現在有効の人（ただし、実習助手・寄宿舎指導員及び社会人選考を受験する場合は除く。3年次選考は令和9年4月1日現

在）

（3） 令和8年4月1日から公立学校教諭として勤務することができる人（3年次選考は令和9年4月1日）

（4） 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格事項のいずれにも該当しない人

（5） 県内どこにでも勤務できる人

5 試験の日程

（1） 1次試験の日程

令和7年6月14日（土） 筆記試験（教職教養・教科専門）

令和7年6月15日（日） 実技試験（中学校音楽・美術・保健体育、高等学校音楽・美術・書道・保健体育）

校種・教科等	選考区分	1次試験			2次試験	
		教職教養	教科専門		集団面接（討議）	個人面接
			筆記試験	実技試験		
小学校	全ての選考	100点	200点	—	100点	300点
中学校・高等学校（実技なし）	全ての選考	100点	200点	—	100点	300点
中学校・高等学校（実技あり）	全ての選考	100点	150点	100点	100点	300点
高等学校	社会人選考	個人面接	200点	—	100点	300点
特別支援学校 養護教諭 栄養教諭	一般選考	100点	200点	—	100点	300点
実習助手・ 寄宿舎指導員	一般選考	100点		—	100点	300点

※最終面接　　3年次選考　　集団面接　100点

（2） 1次試験の結果

令和7年7月9日（水） 教職員課 Web サイト掲載及び電子申請申込内容照会にて確認

（3） 2次試験の日程 （集団面接、個人面接ともにいずれかの1日を指定）

令和7年7月19日（土）、20日（日） 集団面接

令和7年8月7日（木）～10日（日）、12日（火）～15日（金） 個人面接

（4） 2次試験の結果

令和7年9月5日（金） 教職員課 Web サイト掲載及び文書通知

◆◇◆ ◆◇◆

令和８年度　奈良県・大和高田市　公立学校教員
採　用　候　補　者　選　考　試　験　受　験　案　内

◆◇◆ ◆◇◆

奈 良 県 教 育 委 員 会
大 和 高 田 市 教 育 委 員 会

【出願期間】 令和7年4月25日(金)9:00 ～ 5月19日（月）17:00
【1次試験】
（筆 記 試 験 ） 令和7年6月14日（土）
（実 技 試 験 ） 令和7年6月15日（日）
※社会人選考及び大学院選考、3年次選考(令和7年度2次試験合格者)の面接を
14日、15日のいずれか指定された1日で実施
【2次試験】 集団面接・個人面接とも、いずれか指定された1日で実施
（集団面接（討議）） 令和7年7月19日（土）、20日（日）
（個 人 面 接 ） 令和7年8月7日（木）～10日（日）、12日（火）～15日（金）
【予備日】 1次試験 6月21日・22日　 2次試験 7月26日・27日、8月16日・17日

今年度の教員採用試験の特徴（主な変更点）
○中学校・高等学校(外国語(英語))の教科専門は、筆記試験を行わず、所有する英語資格を得点化します。
○社会人選考の対象を中学校に拡大します。対象教科は数学・理科・技術・家庭です。
○日本語指導に関する資格所有者への加点対象を小学校と中学校に拡大します。
○1次試験の免除に関わる要件を一部変更します。（国立及び公立学校（奈良県以外）における教諭の扱いを県費常勤講師と同じとします。）

★出願の際、写真データや免除及び加点申請用の証明書のデータが必要になります。
★在職証明は、任命権者による証明が必要です。学校長による証明ではありません。
各教育委員会等に余裕をもって申請してください。

目次

〔１〕 募集する校種等、教科等 ・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ２
〔２〕 受験資格 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ３
〔３〕 配点・試験内容・選考内容及び結果発表・・・・・・・ Ｐ５
〔４〕 提出書類について・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ７
〔５〕 1次試験の免除について・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ８
〔６〕 加点申請・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ10
〔７〕 出願手続きについて ・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ11
〔８〕 受 験 時 の 注 意 事 項 ・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ13
〔９〕 名簿登載及び採用についての注意事項 ・・・・・・・・ Ｐ14
〔10〕 任 期 付 候 補 者 名 簿 ・ 講 師 登 録 ・・・・・・・・ Ｐ14
〔11〕 名簿登載期間延長による採用猶予制度・・・・・・・ Ｐ15
〔12〕 保有個人情報の提供及び過去の試験問題の閲覧等・・・ Ｐ16
〔13〕 問い合わせ先等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ16

〔1〕 募集する校種等、教科等

校種等	選考区分 / 教科等	一般	義務教育学校教員	小学校英語	複数教科指導教員	発達支援推進教員	国際バカロレア教員	日本語指導教員	社会人	大学院	3年次	障害者特別
小学校		○	○	○		○					○	○
中学校	国語	○			○							○
	社会	○			○							○
	数学	○	○		○				○			○
	理科	○	○		○				○			○
	音楽	○			○							○
	美術	○			○							○
	保健体育	○			○							○
	技術・家庭	○			○				○			○
	外国語（英語）	○	○		○							○
高等学校	国語	○					○	○	○			○
	地理歴史	○					○	○	○			○
	数学	○					○	○	○	○		○
	理科（物理・化学・生物）	○					○	○	○	○		○
	音楽	○						○	○			○
	美術	○						○	○			○
	書道	○						○	○			○
	保健体育	○					○	○	○			○
	外国語（英語）	○					○	○	○			○
	家庭	○					○	○	○	○		○
	農業	○						○	○	○		○
	工業（機械・電気）	○						○	○	○		○
	商業	○						○	○			○
	情報	○						○	○			○
特別支援学校		○				○					○	○
養護教諭		○										○
栄養教諭		○										○
実習助手・寄宿舎指導員	工業・理科 特別支援	○				○						○

1 上記いずれか1つの校種等・教科等、選考区分についてのみ受験することができます。
※「障害者特別選考」は他のいずれの選考区分とも重ねて受験することができます。
2 採用予定者数は、教職員課 Web サイト（以下、Web サイトという。）をご覧ください。
※3年次選考の合格者は、令和8年度の採用者数に含みません。
3 小学校・中学校の採用者は、奈良教育大学附属小学校・中学校に配置することがあります。
4 高等学校の採用者は、県立中学校及び市立定時制高等学校に配置することがあります。
5 実習助手・寄宿舎指導員の採用者は、今後の人事異動により実習助手は寄宿舎指導員に、寄宿舎指導員は実習助手の職に配置転換されることがあります。
6 中学校音楽、美術、技術・家庭の採用者は、複数校での兼務となる場合があります。
7 高等学校音楽、美術、書道、家庭、情報の採用者は、複数校での兼務となる場合があります。

〔2〕 受験資格

出願には、次の【共通受験資格】と【個別受験資格】の両方を満たすことが必要です。
下記に示す教諭普通免許状（以下、免許状という。）は、取得見込み（令和8年3月31日まで※1）を含みます。　※1 3年次選考の受験者は、令和9年3月31日まで

【共通受験資格】

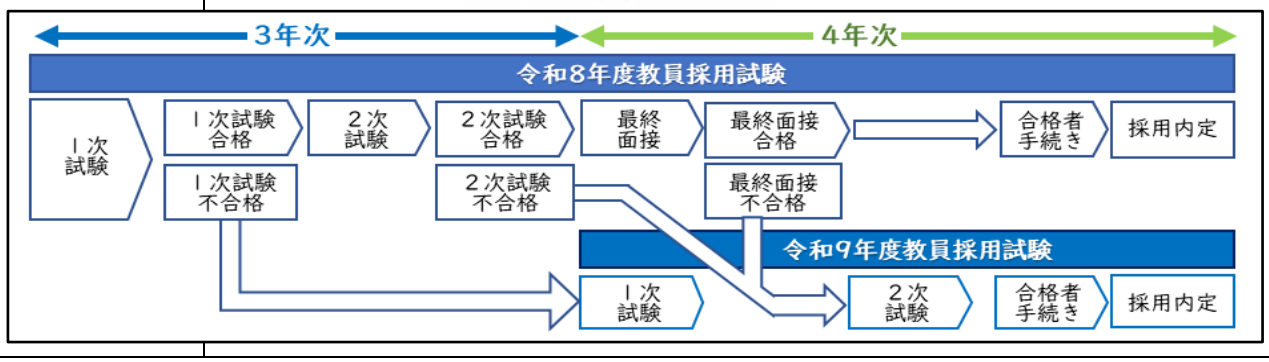
（1） 昭和39年4月2日以降に出生した人
（2） 受験する校種・教科等の免許状を所有し、所有する免許状が令和8年4月1日現在有効の人
　（ただし、実習助手・寄宿舎指導員、社会人選考、大学院選考を受験する場合は除く。）
（3） 令和8年4月1日から公立学校教諭として勤務することができる人（3年次選考は令和9年4月1日現在）
（4） 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格事項のいずれにも該当しない人
（5） 県内どこにでも勤務できる人

【個別受験資格】　★の選考区分は、条件によって提出書類が必要です。

選考区分	資格要件等　※資格については、令和8年3月31日までに取得見込みを含みます。見込みで受験した人が、資格取得できない場合は、採用される資格を失います。
一般選考	【共通受験資格】の要件のみ
義務教育学校教員選考	**【小学校を受験する場合】** **中学校（音楽・美術・技術・家庭）**のいずれかの教科の免許状を所有し、次の①及び②の業務に大きな関心・意欲がある人 ①義務教育学校前期課程に勤務（担任等の業務を含む）しながら、後期課程での指導を担当すること。 ②兼務により、近隣中学校で教科指導を行うこと。 **【中学校（数学・理科・外国語(英語)）を受験する場合】** 小学校教諭の免許状を所有し、次の①及び②の業務に大きな関心・意欲がある人 ①義務教育学校後期課程に勤務（担任等の業務を含む）しながら、前期課程での指導を担当すること。 ②兼務により、近隣小学校で教科指導を行うこと。
小学校英語選考 ★	小学校の受験者で、次の1、2いずれかに該当する人 1 中学校外国語（英語）又は高等学校外国語（英語）の免許状を所有している。 2 出願時点において、加点申請⑤番の資格（実用英語技能検定準1級以上等の資格）を取得している。 **※小学校英語専科担当を募集するものではありません。** **★提出書類：実施団体が発行する資格証明書**
複数教科指導教員選考	中学校（技術・家庭）の免許に加え、それ以外のいずれかの教科の中学校教諭の免許状を所有している人 ※中学校（技術・家庭）両方の免許状を所有している人も対象とします。 **※採用後初回の異動までは、必ず複数の教科を指導することを採用の条件とします。**
発達支援推進教員選考 ★	**【小学校を受験する場合】** 国家資格「言語聴覚士」を有する人 **【特別支援学校、実習助手を受験する場合】** 国家資格「作業療法士」「言語聴覚士」「理学療法士」を有する人 **★提出書類：資格証明書**
国際バカロレア教員選考 ★	次の1、2いずれかに該当する人 1 国際バカロレア教員資格（DP）を有する人 2 国際バカロレア（IB）機構が実施するワークショップ参加証を有する人 **★提出書類：認定証または参加証**

日本語指導教員選考 ★	次の1、2いずれかに該当する人 1 国家資格「登録日本語教員」を有する人 2 文化庁の認める420時間以上の日本語教育に関する研修を受講した人 ※高等学校への留学生等の日本語指導を担当していただきます。 **★提出書類：資格証明書または受講修了書**
社会人選考 ★	各教科共通、以下のすべてに該当する人 1 教科に関する専門的な知識、経験、又は技能を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と見識をもっている人 2 高等学校、大学を卒業し、受験する教科に関わる研究施設、民間企業又は官公庁等での3年以上の勤務実績（令和7年3月31日までの常勤のみが対象）を有している人 ※農業、工業、技術、家庭については、県内公立学校における臨時免許状での勤務経験も含むことができます。 3 免許状を所有していない人、又は教諭経験のない人 ※免許状を所有しない場合、合格後に特別免許状の申請が必要になります。申請には、最終学歴の卒業証明書、在職・勤務証明書等の提出が必要です。 【外国語（英語）】 大学を卒業している人で、英語能力が極めて優れた人 ※日本語以外を母語とする国・地域の出身者は、教員の職務を行うのに必要とされる日本語能力を有していること **★提出書類：自己推薦文（様式自由、2000字以内、日本語に限る）**
大学院選考 ★	次の1、2すべてに該当する人 1 教科に関する専門的な知識、経験、又は技能を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と見識をもっている人 2 理学、工学、農学及び家政を専攻する大学院修了者（見込み含む） ※採用前に4週間程度、実習助手等として学校現場で勤務していただきます。（講師経験者、民間企業又は官公庁等で勤務している人を除く。） ※免許状を所有しない場合、合格後に特別免許状の申請が必要になります。申請には、最終学歴の卒業証明書、在職・勤務証明書等の提出が必要です。 **★提出書類：自己推薦文（様式自由、2000字以内、日本語に限る）** **大学院での研究の概要（様式自由、A4用紙3枚程度）**
3年次選考	次の1、2すべてに該当する人 1 大学（短期大学含む）及び専門学校の最終年次1年前の学生で、令和9年3月31日までに免許状を取得見込みの人※いずれの学校にも所属していない科目等履修生は除く。 2 **奈良県が第1志望**で、令和9年度教員採用試験を受験する意思がある人 ※加点等は、一般選考と同じ扱いになります。 ※選考にあたっては、他の選考の受験者とは別に合否を判定します。 ※2次試験合格者は、令和8年に最終面接を行います。 ※最終面接合格者は、令和9年度教員採用候補者名簿に登載します。 ※2次試験不合格者は、令和9年度1次試験を免除します。 ※最終面接不合格者は、令和9年度2次試験を受験することができます。

3年次選考の流れ



障害者特別選考	**出願時点において**、身体障害者手帳（1～6級）、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳（以下、障害者手帳等という。）のいずれかの交付を受けている人 注意事項 ※選考にあたっては、他の選考の受験者とは別に合否を判定します。 ※この特別選考は、他のいずれの選考とも重ねて受験することができます。 ※障害の状況等により、筆記試験や面接の実施方法、実技試験の実施方法や内容を一部変更することがあります。変更がある場合には、後日個別に奈良県教育委員会事務局から連絡します。 ※全国障害学生支援ならネット修了者は、修了証を申込フォーム「添付書類」欄に添付し提出してください。教職教養試験と集団面接（討議）を免除します。 ★ **★提出書類：障害者手帳等の氏名、生年月日、障害の種類及び等級がわかるページ** **全国障害学生支援ならネット修了証**

〔3〕 配点・試験内容・選考内容及び結果発表

1 配点について

（1）1 次試験

校種・教科等	教職教養	教科専門		加点	合計
		筆記試験	実技試験		
小学校・中学校・高等学校(実技なし) 特別支援学校・養護教諭・栄養教諭	100点	200点	－	6～20点	300点+加点
中学校・高等学校（実技あり）	100点	150点	100点	6～20点	350点+加点
実習助手・寄宿舎指導員	100点	－	－	6～20点	100点+加点

※社会人選考は、教職教養に代えて個人面接を実施します。

※大学院選考は、1 次筆記試験に代えて個人面接を実施します。

★ 小学校の実技試験に代えて、合格者に対して実技指導者講習を課します。

★ 中学校・高等学校(外国語(英語))の教科専門は、筆記試験を行わず、所有する英語資格を得点化します。

★ 中学校（音楽・美術・保健体育）、高等学校（音楽・美術・書道・保健体育）は実技試験を行います。
※いずれも社会人選考を含みます

★ 教科専門において、成績優秀者（200点満点中160点以上 ※実技教科は、250点満点中200点以上）は、令和9年度の教科専門を免除します。※令和8年度と同じ校種・教科等を受験する場合に限ります。

（2）2 次試験

校種・教科等	集団面接	個人面接	合計
全校種（共通）	100点	300点	400点

（3）最終面接（3 年次選考）

校種・教科等	集団面接	合計
全校種（共通）	100点	100点

2 1次試験について

<table>
<tr><th>試験内容</th><th colspan="2">出題内容等</th></tr>
<tr><td>教職教養</td><td colspan="2">教職教養と時事問題を出題します。</td></tr>
<tr><td>教科専門
(筆記試験)</td><td colspan="2">○小学校は、国語・社会・数学・理科・英語から出題します。
○中学校・高等学校の音楽はリスニング問題を含みます。
○高等学校地理歴史及び理科は、全ての領域の内容を出題範囲とする共通問題（全員解答）と選択問題（2領域を選択し、それぞれ解答）を出題します。
※選択問題　地理歴史は世界史、日本史、地理から2領域を選択。
理科は出願時に選択した領域を含め、物理、化学、生物から2領域を選択。
○中学校・高等学校の外国語（英語）受験者は、以下の表の通り、英語資格を得点化します。
<table>
<tr><th>資格</th><th colspan="2">実用英語技能検定</th><th>TOEFL</th><th>TOEIC</th></tr>
<tr><td rowspan="3">得点</td><td>1　級</td><td>180 点</td><td rowspan="3">iBT スコアを
2 倍した点数</td><td rowspan="3">L&R のスコアと、S&W のスコアを
2.5 倍した合計得点を 10 で除した点数
※IP テストは除く。</td></tr>
<tr><td>準 1 級</td><td>160 点</td></tr>
<tr><td>2　級</td><td>60 点</td></tr>
</table>
※上限を200点とします。また、小数点以下は切り捨てます。
★提出書類：いずれかの成績証明書</td></tr>
<tr><td rowspan="4">教科専門
(実技試験)</td><td>教科</td><td>課題及び持参物</td></tr>
<tr><td>美術</td><td>《立体制作》
《鉛筆と水彩絵の具による表現》
・紙立体制作用具一式（カッターナイフ、ハサミ、30cm～60cmの定規、接着剤等）
・デッサン用具一式（鉛筆、消しゴム、画板等）
・水彩用具一式（水溶性絵の具、筆、パレット、筆洗、ぞうきん等）
※カッティングマットは必要ありません。</td></tr>
<tr><td>音楽</td><td>《創作を含む新曲視奏》
予見時間内に楽譜の指定部分の旋律を創作し、アルトリコーダーで演奏します。
※ アルトリコーダー、筆記用具は各自持参してください。
※ 楽譜に書き込んだ内容も採点に含みます。

《ピアノによる弾き歌い》
下記の7曲から、当日指定する1曲にピアノ伴奏を付け、主旋律を歌唱します。
（楽譜は見てもよい。）
①「赤とんぼ」　三木露風 作詞 ／ 山田耕筰 作曲
②「荒城の月」　土井晩翠 作詞 ／ 滝廉太郎 作曲
③「早春賦」　吉丸一昌 作詞 ／ 中田 章　作曲
④「夏の思い出」 江間章子 作詞 ／ 中田喜直 作曲
⑤「花」　武島羽衣 作詞 ／ 滝廉太郎 作曲
⑥「花の街」　江間章子 作詞 ／ 團伊玖磨 作曲
⑦「浜辺の歌」　林古溪　作詞 ／ 成田為三 作曲</td></tr>
<tr><td>書道</td><td>毛筆による「漢字、仮名、漢字仮名交じりの書」の作品の制作。
【持参物】書道用具（筆、墨）
※毛氈、文鎮、硯は試験会場にて準備するが、各自が持参した物も使用可とする。</td></tr>
<tr><td>保健
体育</td><td>球技（ネット型：バレーボール）、水泳（背泳ぎ、平泳ぎ、クロール）
器械運動（マット運動）、ダンス（現代的なリズムのダンス）
※運動着、水泳着及び体育館用運動靴を持参してください。</td></tr>
</table>

3 2次試験（個人面接）について

☆ 個人面接において、教科指導についての質問を行います。

・小学校の受験者は、教科を〔国語・社会・算数・理科・英語〕の中から出願時に1つ選択してください。
※小学校英語選考の受験者は、英語に限ります。

・義務教育学校教員選考の受験者に対しては、小学校・中学校両方の教科指導についての質問を行います。出願時に教科を選択してください。（保有する免許状の教科に限ります。）

・小学校英語選考、中学校及び高等学校の外国語（英語）、国際バカロレア教員選考の受験者に対しては、英語による質問があります。

・高等学校地理歴史の受験者は、科目を〔日本史・世界史・地理〕の中から出願時に1つ選択してください。

☆ 教科指導についての質問の課題等は、7月4日（金）に Web サイトで公開予定です。

4 最終面接（3年次選考のみ）について

・免許取得のための単位取得状況の確認を含みます。

5 選考内容

		評価の内容	選考基準
1次試験	教職教養	○教職教養・時事問題に関して、児童・生徒を指導する上で必要な知識や理解及び教員として求められる資質能力を問う。	○全ての試験及び加点の合計点を基に総合的に判定する。 ○各試験には、それぞれ合格基準があり、合計得点が上位であっても基準に達しないものがある場合は不合格となる。
	教科専門	○各校種・教科において、児童・生徒を指導する上で必要な教科専門の力量があるかを問う。 ○実技試験では、各教科において、実技指導に関して必要な知識及び技能を有しているかを問う。	
2次試験	集団面接（討議）	○教員としての職務を遂行するのにふさわしい能力・適性をもった人物を選考する。 ○集団の中で発揮される資質や能力を評価する。	○受験した試験の合計得点を基に総合的に判定する。
	個人面接	○思考力・判断力・表現力等を育て、発達の段階に応じた課題解決能力を育成するための教科指導力を有しているかを問う。 ○自立した社会人としての豊かな人間性、教育者としての識見、資質・適性等、総合的に優れた人物を選考する。	

※面接に関する評価の観点については、課題等の発表時に Web サイト上で示します。

※一般選考以外の合否判定は、各選考受験者のみで合否判定後、一般選考受験者と併せて合否判定を行います。

6 結果発表

・１次試験　結果発表　７月９日（水）　Ｗｅｂサイト掲載及び電子申請申込内容照会にて確認
・２次試験　結果発表　９月５日（金）　Ｗｅｂサイト掲載及び文書通知

〔4〕 提出書類について

対象者は、出願時にデータ（**ＰＤＦ形式・Ａ４サイズ**）で提出してください。

※申込フォーム「添付書類」欄に添付してください。
※ＰＤＦデータは、鮮明で氏名等が読み取れるか等、よく確かめてください。
※免許状については、採用時に確認しますので、出願時に提出する必要はありません。
　また、資格等の取得見込み者についても、 採用時に確認します。（見込み証明書等は不要です。）
※加点申請については、１０・１１頁で確認してください。
※同一の内容の提出物の場合、添付データ１つで構いません。

〔5〕 1次試験の免除について

下記に該当する人は、1次試験の免除の対象となります。

出願時に免除申請が必要です。（免除申請が無い場合は対象であっても免除しません。）

※申請後、勤務経験等を確認します。提出物が無い場合や要件を満たさない場合は、免除しません。

※認否は受験票交付時に通知しますので、必ず確認するようにしてください。

※複数の区分を申請することが可能です。

免除要件一覧表

区分	免除内容	免　　除　　要　　件
ア	1次試験の全て	令和5年4月から令和7年3月31日まで連続して24月、県内公立学校で県費常勤講師として勤務し、令和7年4月に県費常勤講師として勤務している人 ※国立及び公立学校（奈良県以外）の教諭経験は、県費常勤講師の勤務経験と同じとします。 ※受験校種・教科以外での勤務経験は対象外とします。 ※4月については始業日以前の任用の場合、連続勤務とみなします。 ※県費任期付教職員については、県費常勤講師と同じ条件です。県費任期付教職員として1年の任期で任用され、自己都合以外の理由により勤務実績が1年未満となった場合は、1年間の勤務実績とみなします。 **★提出書類：【国立及び公立学校（奈良県以外）の現職教諭・教諭経験者】** **任命権者による在職証明書（校長による証明ではありません）** **様式自由。職名、在職期間が明記されたものに限る。**
イ		○小学校の受験者で、奈良県次世代教員養成塾のプログラムを修了した人 ○宇陀高等学校ラヒホイタヤ科を修了した人（実習助手希望者に限る） **★提出書類：いずれかの修了証** ※修了した年度以降、3年間に限る。
ウ	教職教養の免除	令和2年4月から令和7年3月31日までの5年間で通算36月以上の勤務実績※2を有する人
エ		令和2年4月から令和7年3月31日までの5年間で通算24月の勤務実績※2を有し、令和7年4月に県費常勤講師、市町村費常勤講師、栄養職員及び実習助手・寄宿舎指導員として勤務している人
オ		私立学校の正規の現職教員で令和7年3月31日現在24月以上の勤務実績を有し、令和7年4月1日現在で現職の人、又は受験校種・教科以外で勤務している上記区分アに該当する国立及び公立学校（奈良県以外）の現職教諭の人 **★提出書類：任命権者による在職証明書（校長による証明ではありません）** **様式自由。職名、在職期間が明記されたものに限る。**
カ	教科専門の免除	令和5年4月から令和7年3月31日まで連続して24月の勤務実績※3を有している人、かつ令和7年4月に県内公立学校で県費常勤講師、市町村費常勤講師及び栄養職員として勤務している人 ※受験校種・教科以外での勤務経験者は対象外とします。 ※市町村費常勤講師にあっては、小学校の学級担任、又は中・高等学校の教科指導をしていた（いる）人、養護教員や栄養職員として勤務していた（いる）人に限ります。
キ		令和7年度採用試験の筆記試験（教科専門）における、成績優秀者（8割以上の点数） **★令和7年度の受験番号を「受験上の配慮希望事項等」欄に記入すること。** **氏名が変わっている場合は、戸籍抄本を添付してください。**

※2 県内公立学校で県費常勤講師、市町村費常勤講師、栄養職員、実習助手・寄宿舎指導員としての勤務月数

※3 県内公立学校で県費常勤講師、市町村費常勤講師及び栄養職員としての勤務月数

★勤務実績（月数）の計算方法及び免除要件確認表は次頁に記載しています。

★他府県の講師は、免除の対象ではありません。（勤務実績にも含みません。）

勤務実績（月数）の計算方法は下記の通りです。

・非常勤職員の期間を除きます。
・育児休業・休職・停職の期間は除算します。
・１月に満たない場合は、それぞれの日数を通算し、３０日を１月とみなします。
　※ただし、通算後の残り日数が１５日以上の場合も１月とみなします。

免除区分	教職教養	教科専門	令和２年４月１日 令和２年度	令和３年４月１日 令和３年度	令和４年４月１日 令和４年度	令和５年４月１日 令和５年度	令和６年４月１日 令和６年度	令和７年４月１日 令和７年４月～
ア	免除	免除				常勤講師 教諭	常勤講師 教諭	常勤講師 現職教諭
ウ	免除		常勤講師等として、５年間で３６月以上の勤務実績					
エ	免除		常勤講師等として、５年間で２４月以上の勤務実績					常勤講師等
オ	免除		私立学校の正規の現職教員として、又は 国立及び公立学校（奈良県以外）の現職教諭として 令和７年３月31日現在、24月以上の勤務実績					現職教員 現職教諭
カ		免除				常勤講師等	常勤講師等	常勤講師等

※教諭(現職教諭)は、任用の期限を付さない教諭又は講師（常勤）を指します。

※よくあるお問い合わせ

令和7年3月31日で国立及び公立学校(奈良県以外)の教諭、又は私立学校の正規教員を辞職し、令和7年4月から奈良県の講師として勤務している人の場合
　⇒免除対象(ただし、令和7年3月31日までの在職証明が必要です。)

令和6年3月31日で国立及び公立学校(奈良県以外)の教諭、又は私立学校の正規教員を辞職し、令和6年4月から奈良県の講師として勤務している人の場合
　⇒免除対象(ただし、令和6年3月31日までの在職証明が必要です。)

小学校の音楽専科として勤務している（勤務実績の要件を満たしている）人が、 中学校音楽を受験する場合
　⇒教職教養の免除のみ（受験校種以外での勤務のため）
　　※特別支援学級の担任の人が、特別支援学校を受験する場合も同じ

奈良県内の公立学校で教諭として勤務していて、別の校種を受験する場合
（例：小学校教諭⇒特別支援学校）　**⇒免除対象外**

中学校の特別支援学級を担任している場合　**⇒教科指導を行っている場合は免除対象**

在職証明に形式はあるのか？ **⇒様式の指定はありません。各都道府県の教育委員会等が発行したものを提出してください。発行に時間がかかる場合もありますので、早めに申請するようにしてください。**

〔6〕 加点申請

1　下記の加点要件に該当する人は加点申請することにより、１次試験に限り加点します。
　※申請番号③、⑬の証明書(認定証)及び教諭普通免許状は取得見込みでも申請可能です。
2　複数加点申請ができます。(**※②と③、⑬と⑭、⑮と⑯の同時申請は不可**)
3　必要な証明書類を提出しない場合や取得見込みで受験し、令和８年３月３１日までに取得できない、又は取得を証明できなかった場合、加点が無効となり、採用内定を取り消すことがあります。(３年次選考は令和９年３月３１日まで)
4　**採用後、採用校種に関わらず、加点申請した免許状の教科を担当していただくことがあります。**

【加点要件一覧】
　※免許状は、教諭普通免許状をさし、臨時免許は対象外です。

番号	対象 校種等	対象 選考区分	加点要件 以下の免許状等を所有していることを要件とします。	加点 得点
①	小学校 中学校	一般 小学校英語 複数教科指導教員	小学校及び中学校の免許状	６点
②		全	文部科学省が交付する司書教諭講習修了証書 **★提出書類:司書教諭講習修了証書**	10 点
③		全	各大学等の学校図書館司書教諭講習単位修得証明書	６点
④		全	「特別支援学校」の免許状	６点
⑤	小学校	小学校英語	次のいずれかの資格 ・実用英語技能検定　準１級以上 ・TOEFL iBT 80 点以上 ・TOEIC L&R/TOEIC S&W 1560 点以上 ※TOEIC L&R/TOEIC S&W については、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍について合算したスコアで判定します。 また、IP テストは除きます。 **★提出書類:実施団体が発行する資格証明書**	15 点
⑥		義務教育学校教員	中学校「音楽」「美術」「技術」「家庭」の免許状	20 点
⑦	中学校	義務教育学校教員	小学校の免許状	20 点
⑧		複数教科指導教員	中学校「技術」・「家庭」いずれかの免許状及びそれ以外の中学校の免許状 (中学校「技術」・「家庭」の両方の免許状でも可)	20 点
⑨	高等学校 **(情報以外)**	一般	高等学校「情報」の免許状	15 点
⑩	高等学校 (地理歴史)	一般	高等学校「公民」の免許状	６点
⑪	高等学校 (家庭)	一般	次のいずれかの資格 管理栄養士、調理師、製菓衛生師 **★提出書類:上記いずれかの免許状**	６点
⑫	高等学校 (数学・理科)	全	加点申請⑤と同じ内容	15 点
⑬	高等学校	国際バカロレア	国際バカロレア教員資格(ＤＰ)を有する人 **★提出書類:資格証明書**	20 点
⑭	高等学校	国際バカロレア	国際バカロレア(IB)機構が実施するワークショップ参加証 **★提出書類:参加証**	10 点
⑮	小・中・高	日本語指導	国家資格「登録日本語教員」 **★提出書類:資格証明書**	20 点
⑯	小・中・高	日本語指導	文化庁の認める 420 時間以上の日本語教育に関する研修の受講修了書 **★提出書類:受講修了書**	10 点
⑰	特別支援学校	一般	特別支援学校「視覚領域」又は「聴覚領域」の免許状	10 点

⑱	特別支援学校 実習助手	発達支援推進教員	国家資格「作業療法士」「言語聴覚士」「理学療法士」 **★提出書類：資格証明書**	20 点
⑲	全校種等 教科等	一般 小学校英語 義務教育学校	次のいずれかの資格 臨床心理士、公認心理師、社会福祉士、精神保健福祉士 **★提出書類：上記いずれかの資格証明書**	6 点

〔7〕 出願手続きについて

（１）出願期間

令和７年４月２５日（金）９：００から令和７年５月１９日（月）１７：００まで

（２）出願方法

電子申請（e 古都なら）でのみ受け付けます。※郵送及び持参による受付は行いません。

準備	① 令和8年3月31日まで使用可能なメールアドレス（以下、メールアドレスという）。 ※データの保存や提出等の作業がありますので、パソコンでの出願を推奨します。 ② 受験票用の写真データ 出願の際に必要になります。**写真は、3ヶ月以内に撮影されたもので、上半身、脱帽、正面向き、無背景（写真画像が加工されたものは使用不可）に限ります**。 ファイルサイズ130KBまで。対応ファイル形式は jpeg、jpg、gif、png 画像ファイル名は「生年月日（半角数字8桁）＋名前」にしてください。 （例 ：19771208奈良太郎） ③ 受験資格、免除申請及び加点申請用データ（該当者のみ） 対応ファイル形式は、PDF のみ。 詳しくは、7頁の「提出書類について」をご覧ください。
申込手順	④ 奈良県電子行政サービス（e 古都なら）の手続き一覧から 「令和8年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験」を選択 〔URL〕 https://apply.e-tumo.jp/pref-nara-u/offer/offerList_initDisplay ※「e 古都なら」は、奈良県の HP のトップページ下部から入れます。 ⑤ メールアドレスを入力し、「完了する」をクリック **※採用手続等が終了するまで使用可能なメールアドレスを設定してください。** ⑥ メールアドレスに返信される申込画面の URL をクリック ※迷惑メール対策等を行っている場合は、「pref-nara@apply.e-tumo.jp」からのメール受信が可能な設定に変更してください。 ⑦ 必要事項を入力、写真データ（必須）、③で準備したデータ（該当者のみ）を添付し、「確認へ進む」をクリック **⑧ 申込内容をPDFで出力し、記載内容に間違いがないか、写真データが正しく反映されているか等を確認し、「申し込む」をクリック** ※訂正があれば、「入力へ戻る」で戻り修正してください。 ※PDFで出力した願書データは出願後確認できるように**保存又は印刷**しておいてください。 ⑨ 「申請完了」画面（整理番号とパスワードが表示される画面）で「一覧へ戻る」をクリック **※申し込み完了時に「申し込み完了通知」メールが返信されます。整理番号とパスワードは受験票を印刷する時等に必要になりますので、下記に必ず控えておいてください。**
控え用	**メールアドレス** **整理番号**　　**パスワード**

受験票の交付	⑩ 連絡先メールアドレスに送信された案内メールを確認 令和7年5月30日(金)頃送信予定です。 ※6月2日（月）までにメールが届かない場合は迷惑メールフォルダに入っていないか等をお確かめの上、16 頁に記載の問い合わせ先まで連絡してください。 ⑪ 案内メールに従い、e 古都なら「申込内容照会」で整理番号とパスワードを入力し、**通知文と受験票をダウンロード・保存**。 右の2次元コードは電子申請サービス「申込内容照会」へのリンクです。 ⑫ **A4用紙に印刷後、通知文と受験票を切り離して、試験当日持参**。 ※免除申請の認否についても記載していますので、免除申請者も必ず、確認してください。 ※ダウンロード期限は令和7年6月9日(月)です。

（３）出願手続の際の注意事項

○受験票用の写真データ及び在職証明・資格等の証明書のデータ(該当者のみ)が出願時に必要になります。

○出願受付段階では、個々の全ての受験資格要件、免除申請を確認することはできません。後日受験資格要件を満たしていないことや虚偽の記載があることが判明した時点で失格となることがありますので、各自で十分確認し、出願してください。

○次の受験者は、出願時に配置希望を選択する必要があります。
高等学校国語、養護教諭、実習助手・寄宿舎指導員

○履歴については、高校卒業時から現在まで空白期間がないように記載してください。
勤務が無い場合は「在家庭」としてください。勤務歴が１２以上ある場合は、直近の履歴を記載してください。（職歴１２が現在の職歴）
※職歴１３以上については申込フォーム「受験上の配慮希望事項等」欄に記載してください。

○懲戒処分や分限処分などの処分歴（体罰、わいせつ行為、各種ハラスメント、飲酒運転等）や罰金刑以上の刑罰（道路交通法違反を除く）がある場合には、その名称や期日、具体的な内容について、必ず申込フォーム「賞罰」欄に記載してください。処分歴の秘匿や、故意による虚偽の記載があった場合には、採用候補者名簿から名前を削除します。

○受験時の配慮を希望する人は、申込フォーム「受験上の配慮希望事項等」欄に具体的に記入してください。受験に関わる奈良県教育委員会事務局からの連絡について、電話以外の連絡方法を希望される場合も同様に、希望する具体的な連絡方法を記入してください。

○出願締切後は、出願内容の変更はできません。

○同一人物から複数の出願が行われた場合（重複出願）は、出願の全てを無効とし、いずれの出願についても受理しません。ただし、出願期間内であれば、不要な出願を取り下げることは可能です。誤って重複した場合や取り下げ処理ができない場合は、１６頁に記載の問い合わせ先まで連絡してください。

○使用されるパソコンや通信回線上の障害等が発生した場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

○申込フォームの入力は、免許状や辞令書（講師経験がある方）等で確認しながら行ってください。

○メールアドレスは、出願後は変更できません。結果等の通知にも使用しますので、全ての手続きが終了するまで、使用可能なメールアドレスを登録してください。

○出願内容について確認したいことがある場合には、奈良県教育委員会事務局教職員課からメールや電話で連絡する場合があります。連絡が取れない場合や、指定する期日までに修正に応じない場合等には、理由の如何を問わず、出願を受理しません。

〔8〕 受験時の注意事項

（１）**試験会場への自動車、二輪車、自転車の乗り入れ及び周辺道路上、コンビニ等周辺施設への駐車は厳禁です。また、自動車やタクシーでの送迎も禁止します。**

（２）試験会場への自動車等の乗り入れや受験に際して配慮を希望する人は、申込フォーム「受験上の配慮希望事項」欄に具体的に記入してください。（記入した内容により、事前に連絡をさせていただく場合があります。）

（３）１次試験は欠席した時点で辞退として取り扱いますので、欠席連絡は不要です。
２次試験を欠席する場合は辞退届を提出してください。《形式自由、送付先は16頁》

（４） 筆記試験においては、試験開始後２０分までに試験会場教室に入室しなかった場合、また、面接及び実技試験においては、集合時刻に集合場所にいない場合には、欠席とみなします。

（５） 受験者の試験日時の希望は受け付けません。また、受験すべき試験等を１つでも受験しなかった場合は、その後に実施する試験等を受験することはできません。

（６） 試験会場への電話等での問い合わせは行わないでください。

（７） 不正行為があった場合は、以後の試験を受験することはできません。

（８） 試験会場の敷地内においては、ＩＣレコーダー、スマートフォン、携帯電話、タブレット端末等、録音・録画・通信・通話のできる電子機器の使用を禁止します。また、電卓等の計算機やスマートウォッチ、計算機能のついた時計の使用も禁止します。試験中に身につけていた場合には、失格となる不正行為とみなし、以後の試験を受験することはできません。

（９） 試験会場敷地内は全面禁煙です。

（10） 暑さ対策のため、上着・ネクタイの着用は必要ありません。

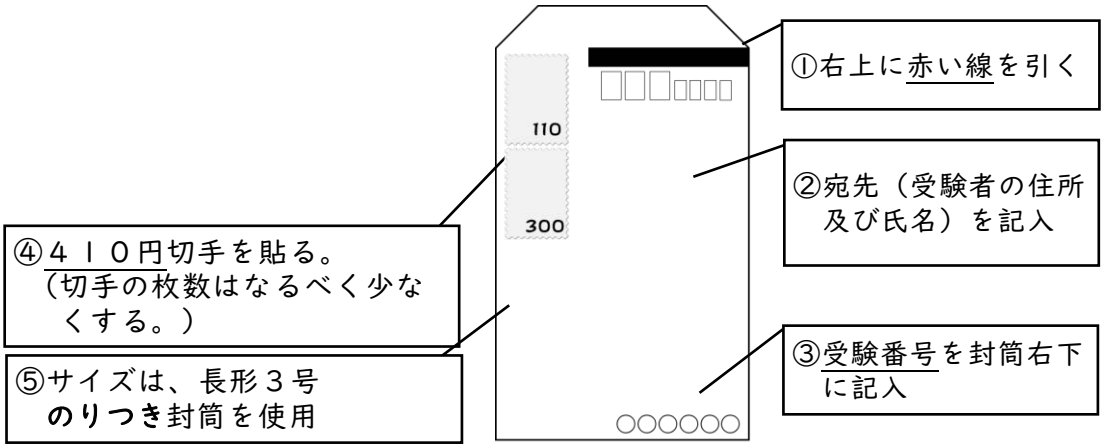
（11） 台風などの非常災害等により、やむを得ず選考日程等を変更する場合は、Ｗｅｂサイトで随時お知らせします。各自、Ｗｅｂサイトを確認の上、対応してください。
※予備日は１頁に記載しています。

（12）**１次試験当日の持参物**は下記の通り

①受験票	**③上履き・靴入れ**
②筆記用具	**④実技試験に必要なもの（該当者のみ）**

（13）試験会場及び集合時刻は、受験票送付時に通知します。
※２次試験の試験会場及び試験日等は、１次試験結果通知時に通知します。

（14）２次試験の受験者は、集団面接の際に結果通知用封筒（速達用）１通を持参してください。
※下図の注意事項を守ること



〔9〕 名簿登載及び採用についての注意事項

（１）合格後の手続

・合格者（３年次選考の合格者を除く※4）は、２次試験結果通知時に指示された手続きを経た後、令和８年度奈良県公立学校教員採用候補者名簿に１年間登載され、採用内定後、原則として令和８年４月１日に採用されます。採用については欠員状況に応じて名簿登載者の中から順次採用しますが、名簿登載者の全員が採用されるとは限りません。
また、奈良県教育委員会の指定する健康診断を受診し、適当と認められないときには採用を検討することがあります。

・採用とは、地方公務員法第２２条に基づく条件附採用であり、教員として１年間（養護教諭及び栄養教諭、実習助手は６月間）を勤務し、その間、職務を良好な成績で遂行したときに初めて正式採用となります。

※４　３年次選考の２次試験合格者は、令和８年に実施する最終面接に合格した後、令和９年度奈良県公立学校教員採用候補者名簿に１年間登載され、採用内定後、原則として、令和９年４月１日に採用されます。（手続き等は令和９年度合格者と同じです。）

・日本国籍を有しない人を採用する場合は、任用の期限を付さない講師（常勤）とします。

・小学校の内定者を対象に、採用前に実技試験の代わりに実技指導者講習を行います。

（２）合格取り消し

・合格通知後であっても、次の事項に該当した場合には合格を取り消し、採用候補者名簿から削除します。

〇願書に虚偽の記載や受験資格を満たさないことが発覚した場合
〇１次試験及び２次試験で不正が発覚した場合
〇教員としてふさわしくない事実が明らかになった場合
〇出願に必要な免許・資格が令和８年３月３１日までに取得できない場合
※３年次選考は令和９年３月３１日まで

〔10〕 任期付候補者名簿･講師登録

（１）奈良県公立学校教職員（任期付）候補者名簿について

奈良県では、地方公務員の育児休業等に関する法律、奈良県職員の育児休業等に関する条例、奈良県職員の育児休業等に関する規則、奈良県職員の配偶者同行休業に関する条例及び、奈良県職員の配偶者同行休業に関する規則の規定に基づき、奈良県公立学校教職員（任期付）採用候補者選考試験合格者を、３年間を限度として「奈良県公立学校教職員（任期付）候補者名簿」に登載しています。登載者の中から、育児休業、育児短時間勤務及び配偶者同行休業をする職員の当該承認期間に応じ、任期付教職員として採用しています。

本試験の１次試験合格者で、「奈良県公立学校教職員（任期付）候補者名簿」への名簿登載の希望者については、奈良県公立学校教職員（任期付）採用候補者選考試験（令和８年１月実施予定）を免除し、令和８年４月１日から令和１１年３月３１日までの３年間、奈良県公立学校教職員（任期付）候補者名簿に登載します。

希望される場合には、出願時に申込フォーム「任期付候補者名簿登載希望」欄に「希望する」を選択してください。

ただし、名簿登載者の全員が任期付教職員として採用されるとは限りません。
また、名簿登載者であっても年度途中の採用となる場合や臨時的任用教職員として採用する場合があります。名簿登載後であっても、令和８年４月１日現在有効な教諭普通免許状が所有できていない場合には採用されません。

※名簿登載は、受験校種･教科等での登載になります。第２希望がある場合や、受験校種･教科等以外での登載を希望される場合は、２次試験結果発表後に連絡してください。

（２）講師登録について

出願と同時に自動的に講師登録が行われます。講師登録を希望しない場合は、申込フォーム「講師登録」欄で「希望しない」を選択してください。

※登録は、受験校種･教科等での登録となります。第２希望等がある場合や、その他希望がある場合は、２次試験結果発表後に、講師登録してください。

〔11〕名簿登載期間延長による採用猶予制度

特例１　大学院在学・進学等に対する特例

専修免許状を取得できる大学院修士課程又は教職大学院（以下「大学院等」という。）に、令和７年度に修学中の人は令和９年４月１日まで、令和８年度から修学する人は令和１０年４月１日まで、名簿登載期間を延長します。

ただし、名簿登載期間の延長には、猶予期間終了までに、大学院等を修了し、令和８年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験（以下「採用試験」という。）で合格した校種・教科等の専修免許状を取得することが必要になります。取得できない場合は、名簿から削除します。

特例２　奈良教育大学大学院専門職学位課程（教職大学院）へ進学する場合の特例

大学院修業年限２年のうち、１年目は大学院での学業に専念します。２年目は奈良県公立学校教員として採用され、学校で勤務しながら大学院の指導を受けます。奈良教育大学大学院専門職学位課程の入試日程により下記Ａ・Ｂの制度があります。

Ａ　７月実施の大学院専門職学位課程入学試験で合格し、入学手続が完了した採用試験１次合格者に対し、１５点を上限に２次試験で加点します。採用試験２次試験に合格した場合には、令和９年４月１日まで、名簿登載期間を延長します。

【加点申請方法】
①特例２を利用する旨を電話連絡する。（令和７年８月１日（金）１７：００まで）
②大学院合格通知書の写しを２次試験の個人面接当日に提出
③大学院入学許可書の写しを提出（令和７年８月１９日（火）まで）必着
※２次試験の個人面接当日に提出でも可
※写しの右下には受験番号を記載すること
※連絡先及び提出先は、１６頁に記載しています。

Ｂ　採用試験に合格し、１１月実施の大学院専門職学位課程入学試験を受験して合格した大学院進学予定者は、令和９年４月１日まで、名簿登載期間を延長します。
※特例１と同様、合格した校種･教科等の専修免許状を取得することが必要です。
※特例２のＡで加点を受けている人が特例１を選択した場合は、加点を取り消し、合否を再判定します。

○　必要な手続き（特例１・特例２共通）
採用内定通知後、**令和７年１２月１１日（木）**までに、次の書類を奈良県教育委員会事務局教職員課へ持参又は郵送すること。（必着）
・採用猶予申請書（採用内定通知後にＷｅｂサイトに掲載）
※利用する制度によって、様式が異なります。
様式１・・・特例１を利用する場合
様式２・・・特例２を利用する場合
・大学院等に修学することを証明する書類（在学証明書又は合格通知書）
・返信用封筒２通（１３頁に記載の注意事項を守ること）
※採用試験出願時に採用猶予申請は不要です。

〔12〕保有個人情報の提供及び過去の試験問題の閲覧等

１　保有個人情報の提供

個人情報の保護に関する法律に基づき、本人からの口頭による申出に応じて、保有個人情報を提供します。教員採用試験において提供する情報は、試験の結果（総合得点、順位及び各試験の得点）です。受験者本人以外からの申出、電話やはがきによる申出では提供できません。

試験	対象者	開示期間	時間	持参物	開示場所
１次試験	不合格者	それぞれの結果発表翌日から１ヶ月間	開庁日の９時から１７時まで（12～13時を除く）	受験票又は、顔写真のある身分証明書	奈良県教育委員会事務局教職員課（奈良県庁内）
２次試験	受験者全員				

※１次試験合格者は、２次試験の提供期間内に１次試験の結果も併せて提供します。

２　過去の試験問題の閲覧等

過去５年分の１次筆記試験の問題及び解答、面接試験(集団面接討議テーマ、個人面接課題)は、県政情報センター(県庁東棟１階 0742-27-8348)で閲覧及びコピー(有料:１枚１０円)することができます。

利用時間は、開庁日の９時から１７時までです。

※なお、著作権許諾の関係で、一部閲覧できない箇所があります。

〔13〕問い合わせ先等

＜郵送先＞

〒630-8502　奈良県奈良市登大路３０番地
　　奈良県教育委員会事務局教職員課定数管理係

＜電　話＞　ＴＥＬ　０７４２－２７－９８５２（直通）

＜Ｗｅｂサイト＞

《トップページ》

《教員採用試験》

令和8年度
奈良県
公立学校
教員募集案内

奈良県教育委員会
公式 SNS

LINE

@846alyxe

Instagram

nara_kyoiku

Follow me!

教員採用
Webサイト

奈良県の子どもたちのために

奈良県が求める教員像

●子どもの学ぶ意欲を高め、生涯にわたり学び続ける力をはぐくむ人
●豊かな人間性をもち、「生きる力」を備えた心身ともに健やかな子どもをはぐくむ人
●奈良の伝統、文化を理解し、地域と社会的絆の中で子どもをはぐくむ人

目指す教育の方向性

一人一人の可能性を最大限に引き出す教育

～郷土奈良に誇りをもち、
新たな価値を創造する力と、
たくましく生きる力を育む～

教育施策の5つの柱

1. 生きる力の基礎を培う就学前の教育を推進します
2. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育を推進します
3. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備を推進します
4. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育を推進します
5. 誰一人取り残さない教育を推進します

第３期奈良県教育振興大綱　令和７年３月策定

学校における働き方改革の推進

勤務時間管理を徹底します

教員の勤務時間は7時間45分

8時30分～17時00分（休憩時間45分を含む）の幅で各学校によって前後します。

・月に45時間を超える時間外勤務は原則できません。（早朝や土日・祝日の部活動等も時間外勤務）
・時間外は留守番電話等で対応します。

学校の業務を見直します

「常識」や「伝統」にとらわれない業務の精選

・学校が担っている業務について、教師が専門性を発揮できる業務であるか、真に必要な業務か見極め、精選していきます。
・市町村教育委員会、家庭、地域と連携しながら中心となる担い手に積極的に移行していきます。

部活動の地域移行を進めます

令和8年度から休日における教員の指導による学校部活動の廃止（中学校）

・部活動指導員をはじめとした外部人材の参画を図りながら、中学校における休日の部活動の地域移行を推進します。
・休養日、活動時間の遵守により、部活動の適正化を徹底します。

若手教員へ働き方改革の観点で支援を行います

・初任者研修では学校を超えて若手教員が悩みを共有できるよう指導主事が支援します。
・学校訪問等で面談の機会を設け、意見交換を行いアドバイスします。
・こころの健康を保つため「メンタルヘルス推進室」でサポートを行っています。

健康管理を意識した多様な働き方を推進します

・フレックス制等を活用し、ライフステージに応じた柔軟で多様な働き方を選択することができます。
・休憩時間は教職員それぞれ個人の勤務状況を考慮した時間設定を行い、1日45分を確保します。

学校現場の声

校長として勤務して3年。その間に9名の先生方が育児休業を取られ、そのうち3名が男性の先生でした。また、フレックスタイム制度を活用して、育児のために時間を少しずらして勤務している先生も2名います。今、学校現場での働き方が大きく変わってきて、学校の運営に支障のない範囲で、働き方を工夫できるような制度が整ってきました。

学校は、子どもたちにとって楽しく居心地がいい場所でなくてはいけません。また、それと同じくらい、先生方にとっても、居心地がよく働きやすい職場でなくてはならないと思っています。

私は、子どもたちのことを一番に考えつつも、教職員がお互いのことを尊重し合える働きやすい学校作りを目指しています。あなたも、そんな学校を一緒に作りませんか？

五條市立
牧野小学校
校長
岡橋　秀光

学校の働き方改革
特設 Web ページ

待遇

令和7年4月1日現在

01 初任給

月額 278,046円

※新卒者（大学卒）の場合で、給料月額に教職調整額、地域手当、義務教育等教員特別手当を含みます。
※今後、人事委員会勧告等により改定されることがあります。

02 主な手当

・期末手当・勤勉手当（R6 実績4.6 月分）
・義務教育等教員特別手当
・通勤手当（150,000 円/月 限度額）
・住居手当（借家の場合、最大 27,000 円）
・地域手当（手当額は勤務地による）
※それぞれの支給条件に応じて支給されます。

03 主な休暇等

・年次有給休暇（年間20日、1年目は15日）
・夏季休暇（5日）※取得可能期間6月から10月
・結婚休暇（最大7日間）
・出産（産前・産後）休暇
（産前8週間、産後8週間）
・男性の育児参加のための休暇
・配偶者の出産に伴う休暇
・子どもの看護休暇（子一人当たり5日間）
・育児休業（子の満3才の誕生日前日まで）

奈良県は、

教師にゆとりを！こどもに笑顔を！プロジェクト

に取り組んでいます。

【プロジェクトの主な内容】
・スクールカウンセラー等の拡充
・教員業務支援員配置促進事業の拡充
・学力向上を目的とした学習支援員等配置促進事業の拡充
・部活動指導員配置促進事業の拡充
・中学校における休日の学校部活動の地域への移行推進
・採用人数の増加

令和６年２月７日 知事定例記者会見
令和６年９月18日 知事定例記者会見
令和６年７月号 県民だより

令和６年度に採用された

先輩の声

一人一人の物語と新しい発見

学級の子どもと話しながら食べる給食が大好き

桜井市立初瀬小学校

教諭　宮本 美夕

Q 教師になろうと思ったきっかけは？

A 教師を目指そうと思ったのは、高校生の頃からです。小学校の担任の先生がすごく褒めてくださる方で、その先生に憧れて、私もたくさん子どもたちを褒めたいと思って先生になろうと思いました。「みゆうはいつも周りのこのことをよく考えて動く子やな～」って褒めていただき、その当時あまり自分に自信が無かったので、そういう言葉に救われたのを今でもよく覚えています。

Q 子どもたちと過ごしていて楽しいなと思う瞬間は？

A つい最近の国語の授業で、「学校生活をよりよくするために」というテーマで話し合い活動をしている時に、蛇口からジュースが出てきたらいいなとか、お菓子食べられたらいいのになとか、子どもらしい意見も中には出てきて、そういう意見を聞いていると、ふふっと笑ってしまいます。

Q 今の悩みは？

A 授業が一番の悩みです。子どもたちの思考を働かせる授業作りが今一番難しいと思っています。授業の時間も限られているので、どうしても教えた方が早いって思ってしまうけど、学校を卒業した後でも考えられる力を身に付けてほしいと思って悩みながら取り組んでいます。8人の学級で、授業に広がりが生まれにくいというのも悩みですが、その分一人一人と多く関われるので、8人のクラスで良かったと思います。

生徒が目を輝かせながら授業に取り組む姿が大好き

大和高田市立高田西中学校

社会科教諭　不二 黎人

Q 教師になろうと思ったきっかけは？

A 中学校1・2年生の担任の先生との出会いが大きいです。教科は社会を教えてもらってて、陸上部でもお世話になっていたんですけど、温かい先生でいい先生だなと思ってて、自分もこんな先生になりたいなと思ったのがきっかけです。

Q 職場の雰囲気はどうですか？

A 何でも聞ける先輩も多くて、とてもいい雰囲気だと思います。登校しにくくなっている生徒への関わりをアドバイスしてもらったり、家庭訪問に同伴していただいたりと、たくさんの先生に支えてもらっています。

Q 学生時代にもっとしておけばよかったことは？

A 箱根駅伝を目指して部活一色の学生生活だったので、部活以外のことをもう少し経験しておけば良かったかなと思います。でも、大学2年生の時に給水役で出場できたのはいい思い出です。

Q 授業をしている中での手応えや喜びは？

A 教育実習の研究授業と違って、授業の準備を毎日続けるのが大変だなと感じるときはありますが、授業がうまくいった時は嬉しいです。例えば、ある単元で、生徒たちに、視野を広げて考えて欲しいというねらいをもって準備した問いと資料で授業をした時に、ねらいどおり、生徒が考えてくれたときに、とても手応えを感じました。

休み時間に子どもと楽しく遊ぶことが大好き

王寺町立王寺南義務教育学校

教諭　北本 夏生

Q 教師になろうと思ったきっかけは？

A 父が中学校でサッカー部の顧問をしていて、土日に連れて行ってもらった時に父と生徒の関わりを見ていて、いいなと思いました。自分も大人になったら、サッカーを教えたいと思って先生なりたいって思ったのがきっかけです。

Q お父さんとは異なる校種ですが、小学校での勤務はいかがですか？

A 小学校、めちゃくちゃ楽しいです。忙しそうなイメージはあったんですけど、それ以上に子どもたちと関わる時間が長いので、毎日ドラマというか出来事があるし、それを放課後に先生方と話すのも楽しいです。

Q 10年後どんな教師になっていたい？

A 10年後も今と変わらず、一緒に遊べる、子どもらととにかく楽しむ、いくつになってもそんな先生になりたいです。

Q 休日の過ごし方は？

A 毎週日曜日は、ボルダリングに行ってます。学生の時から続けていたフットサルが膝を怪我してしまって、ボルダリングは膝にもいいと聞いたので、ボルダリングを始めたら、はまってしまいました。

生徒や先輩の先生方とたくさん話すことが大好き

奈良県立奈良高等学校

家庭科教諭　大平 杏奈

Q 教師になろうと思ったきっかけは？

A 高校時代に新体操部の活動のために減量を頑張りすぎて体調を崩したときに、親身になって助けていただいた先生を見ていて、私もこんな風に、誰かを支えられる存在になりたいなと思ったのがきっかけです。

Q 授業を考え行う中で、難しいなと思ったことはありますか？どう乗り越えた？

A 家庭科は学校で一人なので、これで合ってるの？という確認ができないことが一番難しいなと思います。不安を解消するためには自分が努力するしかないので、一生懸命教材研究しています。

例えば、家計管理の資産形成も教えるんですけど、詳しく知るために銀行に行って教えてもらったり、オンライン講座を受講したり、投資をしている先生に聞いたりして、自分自身でもしっかり理解するようにしました。おかげで自信をもって授業をすることができました。

Q 学生時代にしていて役に立っていることは？

A 1つ目は、スクールサポーターです。授業以外の部分も一緒に経験させていただきました。2つ目は、飲食のバイトです。年上の人と会話することが多いので、マナーや対応力がついたかなと思います。3つ目はテーマパークでのバイトです。老若男女の方、海外の方など様々な人に対応する中で、コミュニケーション力が高まったかなと思います。

ふとした瞬間に見せる子どもの意外な一面を見つけるのが大好き

奈良市立登美ヶ丘北中学校

国語科教諭　今西 愛

Q 教師になろうと思ったきっかけは？

A 中学生の頃、進路で悩んでいるとき、学校の先生に、今西さんやったらその高校行けるよ、できるよと言ってもらえて、その言葉を信じて行きたかった高校に行けたという経験から、言葉って言うのは必要なときに、誰かが声を掛けるだけでその子は行動できると気づき、私自身も、そんな声を掛けられる人になりたいと思い、教師を目指しました。

Q どんな学生だった？

A 大学生の時はあがり症で1・2年生の時は、前に立つだけで震えて話せないような学生でした。先生からの印象も薄くて、積極的な学生ではなかったです。でも、教育系の大学だったので、発表とか模擬授業とかを繰り返しているうちに徐々に話すことに慣れました。

Q 学生の時に見ていた教師に自分がなってみて、教師のイメージは変わりましたか？

A 先生になろうと思って、学生時代から先生の様子を見ていて、先生っていろんな視点で見ないといけないなとか、先生にこれされたら嬉しいなとか考えていたんですけど、やっぱり教員と生徒は見ているところが違うし、気をつけないといけないところは多いなと感じています。そういう面では、今までの先生方はいろんなところを見てくださってたんだなと感じています。

一歩ずつ成長する子どもを見るのが大好き

奈良県立奈良東養護学校

教諭　上田 樹

Q 教師になろうと思ったきっかけは？

A 小学校の先生が、いつも僕を輝かせてくれてて、それが嬉しくて、学校が楽しいなと思っていました。自分も子どもたちに、伝えたいなと思ったのがきっかけです。発達障害がある人と関わる中で、特別支援教育に興味を持つようになって、そういった子どもたちにも学校って楽しいなって思ってもらいたいなと思って、特別支援学校の先生を目指しました。

Q 憧れていた教師になった感想は？

A 学生時代に思っていたときよりも、やりがいを感じています。朝、バスから降りてすぐに僕の所に駆け寄って来てくれたり、授業中にできた！って伝えに来てくれたりしたときに、信頼関係が築けているなと実感するし、できることが少しずつ増えて喜んでいる子どもの笑顔を見たときに、本当に特別支援学校の教師になって良かったなと思います。

Q おすすめの教採対策は？

A 自分自身が、仲間と一緒に取り組むことで、一人では気づかないことにも気づかせてもらったり、新しいことを教えてもらったりしたので、仲間を作ることが大切だと思います。

教員を目指す方へのメッセージ

学生時代、自分もうまくできるのかなという不安はあったけど、日々実践する中で少しずつ自信もついてきます。たくさんの子どもや先生と関わることができ、子どもの成長に携われるやりがいのある仕事だなと思うので、ぜひ教員を目指してがんばってください。

奈良県の魅力 1 学び続ける教員

小学生や中学生の時、先生方から様々なことを楽しく教えていただいたり、温かい言葉をかけていただいたりする中で、いつしか自分も教員になって子どもたちを笑顔にしたいと思い、高校生の時から次世代教員養成塾に参加し、教員を目指して取り組んできました。

いざ、教員になって最も悩んだことは授業でした。1学期のある日、子どもたちの表情が授業中ずっと固まっているということに気づきました。それをきっかけに「子どもたちの心を掴み、いろんな表情を引き出せる授業がしたい」と強く思うようになりました。

思うように行かず悩んだときはいつも周りの先生方がアドバイスをくださいました。また初任者研修では授業づくりについて基礎から学ぶことができ、同じ初任者の先生と悩みを共有したり一緒に考えたりすることで、明日も頑張ろうと力をもらえました。

まだまだ努力の最中ですが、子どもたちが一生懸命考えている顔や、初めて「この勉強楽しい！」と笑顔になるところを見たときは、本当に嬉しい気持ちになりました。奈良県には学び続ける教員を支えてくれる環境があります。子どもたちと一緒に笑ったり悩んだりしながら学び、成長できる毎日にやりがいを感じています。

大和高田市立
浮孔西小学校
教諭　藤門 亜維

奈良県の子どもたちには、生涯にわたって「学ぶ意欲」を持ち続けてほしいと願っています。そのためには、時代の変化に柔軟に対応し、子どもたちとともに成長できる先生が必要です。

日々成長する子どもたちと向き合いながら、学び続ける先生を取材しました。

取材動画

活動中の様子（R6）

次世代教員養成塾

奈良県教育委員会では、奈良県の教員を目指す学生・生徒に、奈良県の教育を担う資質・能力を育成することを目的として次世代教員養成塾を実施しています。

奈良県の魅力 2 山間部での勤務

私は十津川村の全校児童55人の小さな小学校で、4年生8人の担任をしています。

十津川村での勤務が決まった時は非常に驚きました。奈良県に住んでいながらも、ほとんど馴染みのない土地で、しかもそこに移り住んで勤務するというのは大学卒業直後の私には非常に高いハードルに思えました。

実家から2時間超の引っ越しの道中、初めて目にする雄大すぎる山々の桜と絵に描いたように鮮やかな川の色に圧倒されたことを鮮明に覚えています。

不安は少なからずありましたが、職場はあたたかく、頼れる同僚の先生たちとかわいい子どもたちと働ける最高の環境です。心から全力で、楽しみながら仕事に取り組むことができています。勤務後には毎日学校の近くの十津川の温泉に浸かりながら先輩の先生に相談を聞いてもらっています。

児童は少人数のため、一人ひとりの様子をしっかりと見ることができます。また児童の声がよく聞こえる分、子どもに合った授業や関わりをより模索しやすい環境ともいえると思います。

1日1日が発見であり、学びの多い毎日です。これからも十津川の子どもたちと毎日のびのびと学んでいきたいと思います。　山田 祐大

奈良県は緑豊かな県で、総面積の７６．８％は豊かな森林が広がる山間部です。

そんな自然豊かな山間部において、いきいきと働いている先生方を取材しました。

取材動画

十津川村立十津川第二小学校
養護教諭　大野 萌
栄養教諭　藤 杏実
教諭　山田 祐大

子どもたちが給食をとても楽しみにしてくれていることが嬉しいので、期待に応えようと、栄養バランスを考えて献立を考えています。恩師から教わったレシピを取り入れたり、地産地消を意識したりと、給食が意味のあるものになるように、これからも工夫していきたいです。

一人ひとりとじっくり関わることで、私自身が気づかされる場面が何度もありました。子どもとの関わり以外も、保護者への連絡や掲示物の作成など、細かいところにも目を向けて、日々取り組んでいきたいと思います。

奈良県の魅力 3 教員を支える体制

初任者研修

初任者は、教育公務員特例法において、採用の日から1年間、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得るため、学級や教科・科目を担当しながら実践的研修（初任者研修）を行うこととされています。

県教育委員会では、教科等指導や学級・ホームルーム経営、生徒指導、人権教育、特別支援教育等様々な内容の研修をグループワークなど主体的に学ぶことができる方法を交えながら実施し、教員の資質・能力の向上を支援しています。

令和6年度の受講者からは、「1年間の研修を通して、授業づくりの基本からICTの活用、児童の安全やいじめの未然防止、学級経営、特別な支援を要する児童への接し方など、学校で想定されるあらゆる場面に対応するための基礎を幅広く学ぶことができました。」「学校での様子や子供の実態、悩んでいることなどについても同期や他校種の先生方と積極的にコミュニケーションを取れたことで、お互いに切磋琢磨し、今後の教員生活をより充実させることにつながったように思います。」「学校にいると、まるで自分だけが悩んでいるのではないかと思ってしまいますが、同じように悩みながらも日々奮闘している同期の先生方がいるのだということに気付くことができました。」「毎回の研修で、教育について考える時間は、とても有意義で、早く子供たちにこうしたい！これをやりたいと思うことばかりでした。」などの感想を聞くことができました。

教科等指導の様子（小学校）

奈良県教職員の資質向上に関する指標及び教職員研修計画

野外活動（レクリエーション指導）の様子（中学校）

グループ協議の様子（高等学校）

アセスメント-感覚・運動-の様子（特別支援学校）

情報揃ってます 奈良県先生応援サイト

がんばる奈良県の先生のために、教育活動に役立つ情報を集めて共有するためのサイトです。
教職員以外も閲覧可能です。（一部ログインコンテンツのぞく）

【主な内容】
- 教科指導等（指導方法、授業評価、学習指導要領、道徳教育指導資料など）
- 生徒指導（問題行動、いじめ問題、児童虐待、教育相談、不登校など）
- 体力向上（体力向上の取組、運動部活動、感染症に係る保健体育の授業など）
- 健康教育（学校保健、学校安全、食育・学校給食）
- 特別支援教育（子ども理解、校内支援体制、授業づくり、関係機関との連携など）
- 資料・データ・リンク集など

先生応援サイト

資料揃ってます 図書閲覧室

奈良県立教育研究所3階にある、図書閲覧室では、様々な資料や図書を揃え、学びをサポートします。
教職員だけでなく、どなたでも利用可能です。貸し出しも可能です。

【所蔵資料・図書】
- 教育関係の図書（文部科学省刊行物や、教科・学級経営・学校経営に関する図書など）
- 教育資料（各地方公共団体の教育センター、学校などから送られてきた紀要や報告書など）
- 教科書（昭和40年代頃からの教科書、復刻版の尋常小学算術・尋常小学国語読本・尋常小学修身書など）

【開室時間】 平日9:00～17:00

奈良県立教育研究所
田原本町秦庄 22－1
最寄駅：近鉄笠縫駅

教育研究所 TOP

令和８年度
奈良県公立学校教員採用候補者選考試験

令和７年度に実施する採用試験及び任用までの予定は以下の通りです。
採用試験の詳細は、受験案内（教員採用Webサイトに掲載）でご確認ください。

出願	１次試験	２次試験	内定	赴任校通知	任用
令和７年 ４月25日 ～５月19日 電子申請のみ	６月14日 （筆記試験） ６月15日 （実技試験）	７月20･21日 （集団面接） ８月７～15日 （個人面接） 期間内の指定したいずれか１日	10月 上旬 合格後の手続きが必要	令和８年 ３月中旬	令和８年 ４月１日

合格発表 ７月９日

合格発表 ９月５日

内定者面接 令和８年１月

出願時準備物

- ○電子メールアドレス（令和８年３月まで使用可能なもの）
- ○受験票用の写真データ
- ○受験資格、免除申請及び加点申請用データ

一般選考以外の選考区分

- ○義務教育学校教員選考
- ○小学校英語選考
- ○複数教科指導教員選考
- ○発達支援推進教員選考
- ○国際バカロレア教員選考
- ○日本語指導教員選考
- ○社会人選考
- ○大学院選考
- ○３年次選考
- ○障害者特別選考

１次試験免除制度があります！

多様な人材を募集しています！

以下の資格を有している人
- ○国家資格「言語聴覚士」
- ○国家資格「作業療法士」
- ○国家資格「登録日本語教員」
- ○国際バカロレア教員資格（ＤＰ）

奈良県の公立学校データ

	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校	合計
学校数（校）	180	95	8	36	10	329
児童生徒数（人）	59,238	29,143	2,486	21,777	1,538	114,182
教員数（人）	4,585	2,470	254	1,749	956	10,014

令和５年５月１日現在

奈良県教育委員会 公式 SNS

LINE

@846alyxe

Instagram

Follow me!

nara_kyoiku

講師募集

令和７年度、令和８年度の奈良県公立学校講師も随時募集しています。詳細はWebサイトをご覧ください。

講師募集

問い合わせ先
奈良県教育委員会事務局教職員課
〒630－8502
奈良市登大路30番地
TEL 0742－27－9852